

題名	The rice wound-inducible transcription factor RERJ1 sharing same signal transduction pathway with OsMYC2 is necessary for defense response to herbivory and bacterial blight
掲載雑誌	Plant Molecular Biology
著者	Ioana Valea, Atsushi Motegi, Naoko Kawamura, Koichi Kawamoto, Akio Miyao, Rika Ozawa, Junji Takabayashi, Kenji Gomi, Keiichirou Nemoto, Akira Nozawa, Tatsuya Sawasaki, Tomonori Shinya, Ivan Galis, <u>Koji Miyamoto</u> , Hideaki Nojiri, Kazunori Okada アンダーライン：本学教職員
概要	植物ホルモンであるジャスモン酸は、昆虫や病原菌などの外的に対する植物の防御応答の誘導に関与します。本研究では、イネにおけるジャスモン酸応答性転写因子であるRERJ1が揮発性有機化合物の生産などを介して植食性昆虫や病原性の細菌に対する防御応答の誘導に関与することを明らかにしました。本研究は、東京大学などとの共同研究として実施され、植物化学研究室ではRERJ1の変異株の単離および相補株の作製など植物材料の作製に貢献しました。